

## 第 295 回幹事会議事要旨

日 時 令和 2 年 7 月 30 日（木） 13：50～16：45

場 所 オンライン会議により開催

出席者 （会 長）山極 壽一

（副会長）三成 美保、渡辺 美代子、武内 和彦

（第一部）町村 敬志、橋本 伸也、久留島 典子、溝端 佐登史

（第二部）石川 冬木、平井 みどり、武田 洋幸、丹下 健

（第三部）大野 英男、徳田 英幸、高橋 桂子、米田 雅子

（事務局 長）福井 仁史

（事務局次長）荒木 潤一郎

（課 長 等）酒井 千冬、高橋 雅之、犬塚 隆志、市川 恭子

## 審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 「日本の展望 2020 検討委員会運営要綱」を改正することについて承認した。

(2) 「日本学術会議協力学術研究団体規程」の一部改正について承認した。

(3) 提言「物理学分野における学問分野に基づく教育研究（DBER）の推進」について、物理教育研究分科会笹尾真実子委員長及び笠潤平幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(4) 報告「科学的知見の創出に資する可視化－文理融合研究と新パラダイム策定－」について、科学的知見の創出に資する可視化分科会小山田耕二委員長、田中覚委員及び藤代一成委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(5) 提言「活力ある超高齢社会の構築に向けて－これからの日本の医学・医療、そして社会のあり方－」について、老化分科会大内尉義委員長及び荒井秀典幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(6) 提言「すべての人に無償の普通教育を 多様な市民の教育システムへの包摂に向けて」について、排除・包摂と教育分科会志水宏吉委員長及び小玉重夫副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(7) 提言「「地理総合」で変わる新しい地理教育の充実に向けて－持続可能な社会づくりに貢献する地理的資質能力の育成－」について、地理教育分科会矢野桂司委員長及び井田仁康副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(8) 提言「不透明化する世界と地域研究の推進－ネットワーク化による体制の強化に向けて－」について、地域研究基盤強化分科会武内進一副委員長及び宮崎恒二委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(9) 報告「「軍事的安全保障研究に関する声明」への研究機関・学協会の対応と論点」について、軍事的安全保障研究声明に関するフォローアップ分科会佐藤岩夫委員長及び藤井良一副委員長より説明があり、審議の結果、承認した。

(10) 日本学術会議協力学術研究団体を指定することについて承認した。

(11) 学術フォーラム及び土日祝日に講堂を使用するシンポジウム等につき決定した

- (1 件の学術フォーラム、1 件の土日祝日に講堂を使用するシンポジウム等)。  
(12) 15 件のシンポジウム等の開催及び1 件の国内会議の後援について決定した。
- 3 その他事項として、今後の幹事会等の開催日程について確認した。